

『11月のジプシー』 寸評

- ・ 一気呵成にしあげたであろう勢いが伝わってくる
 - ・ 強烈な切り返しが緩急どちらもより印象づける
 - ・ ボディ・パーカッションが編成と内容に欠かせない重要な役割
 - ・ m.14 の突然の休止となだれこむラストがとりわけみごと
 - ・ 申し分なくよく理解できるタイトルだが、たとえば『11月、吹き抜ける風』と抽象的に落としてつつ作品内容でジプシーヴァイオリンを感じとらせる方が無難
- 完成度をさらに上げるために

- ・ ギターの和音が取れるか確認しよう 複数人必要になってしまう
- ・ m.15 まとめてもみやすい



- ・ m.16 b.3 ボディ・パーカッションもぜひいっしょに
- ・ m.1-8 *mf* でもよいかんじ
- ・ m.9-12 *f* でもよいかんじ
- ・ m.16 b.3 Vn. 四重音でもよい
- ・ m.14-m.16 b.1 Vn. オクターヴ上げて
- ・ m.14 ・カンマはすべてのパートに
- ・ m.12 b.3 Vn. トリルは波線を必要な音価分つけよう



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

いいもの聴いてきましたね。

持麿 勉